

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力(基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等)を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校においては、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成してきました。

この度、学習指導要領(平成29年告示)の全面実施を受けて、教材集の改訂を行いました。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題としても活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和6年3月

福岡県教育委員会

# 小学校 国語 五

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

追補版

令和六年三月改訂

## 目次

1	1 単位時間程度で活用する教材(大問)	
1	1 話題をきめて、収集した知識や情報を関連づけよう。 (話すこと・聞くこと) . . . . .	45
2	2 読む人に伝えたいことがよくわかるように、くふうして新聞を作ろう。 (書くこと) . . . . .	47
3	3 登場人物同士の関係をとらえ、心情を読み取ろう。 (読むこと) . . . . .	49
2	2 短い時間で活用する教材(小問)	
1	1 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見とくらべるなどして考えをまとめよう。 (話すこと・聞くこと) . . . . .	54
2	2 資料を提示しながら説明したり、それらを聞いて助言や提案をしたりしよう。 (話すこと・聞くこと) . . . . .	55
3	3 登場人物の関係をとらえ、自分の考えが伝わるように書こう。 (読むこと) . . . . .	56
4	4 図表やグラフを用いて自分の考えを書こう。 (書くこと) . . . . .	57
5	5 登場人物の関係をとらえよう。 (読むこと) . . . . .	58
6	6 言葉の使い方について書かれた文章を読み、自分の考えをまとめよう。 (読むこと) . . . . .	59

大問1～3の出題の趣旨・正答について

51～53

小問1～6の正答について

60～61

第五学年「めあて」話題をきめて、収集した知識や情報を関連づけよう。

( ) (組) (番号前) ( )

〔1〕竹下さんの学級では、片仮名で表された言葉の使用について、日常生活でどのように使われているかを調べ、話し合うことになりました。次の〈竹下さんたちの話し合いの一部〉を読んで、あとの問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること。)

〈竹下さんたちの話し合いの一部〉

<p><b>川畑</b> 今日片仮名で表された言葉の使われ方について話し合います。まず、北原さん、調べてわかったことを発表してください。</p> <p><b>北原</b> はい。私は、片仮名の言葉が日常生活でどのように使われているかを調べて、メモに書き出してみました。これがそのメモです。(メモを示す。)</p> <p>このように、私たちの日常生活では、片仮名の言葉がたくさん使われています。</p> <p><b>竹下</b> 確かにそうですね。祖母もよく、「最近、『スキル』や『プロセス』、『リスク』など、わかりにくい片仮名の言葉を見たり、聞いたりする機会が増えたね。」と言っています。私自身も、『プラン』、『キャンセル』、『リスト』などの言葉に接して、少しとまどった経験があります。</p> <p><b>中野</b> この表を見てください。(表1)を示す。片仮名の言葉の使用について、「意味がわからずに、こまった」経験がある人は、全体では①、年齢別に全体的な傾向を見ると、②ということがわかります。</p> <p>私は、わかりにくい片仮名の言葉を多用することはひかえるべきだと思います。</p> <p><b>上田</b> 私の意見は、中野さんとは少しちがいます。この表を見てください。(表2)を示す。平成24年度と平成19年度を比べてみると、日常生活の中で片仮名の言葉が多いと感じる人は③いることが</p>	<p>まず、北原さん、調べてわかったことを発表してください。</p> <p>はい。私は、片仮名の言葉が日常生活でどのように使われているかを調べて、メモに書き出してみました。これがそのメモです。(メモを示す。)</p> <p>このように、私たちの日常生活では、片仮名の言葉がたくさん使われています。</p> <p>確かにそうですね。祖母もよく、「最近、『スキル』や『プロセス』、『リスク』など、わかりにくい片仮名の言葉を見たり、聞いたりする機会が増えたね。」と言っています。私自身も、『プラン』、『キャンセル』、『リスト』などの言葉に接して、少しとまどった経験があります。</p> <p>この表を見てください。(表1)を示す。片仮名の言葉の使用について、「意味がわからずに、こまった」経験がある人は、全体では①、年齢別に全体的な傾向を見ると、②ということがわかります。</p> <p>私は、わかりにくい片仮名の言葉を多用することはひかえるべきだと思います。</p> <p>私の意見は、中野さんとは少しちがいます。この表を見てください。(表2)を示す。平成24年度と平成19年度を比べてみると、日常生活の中で片仮名の言葉が多いと感じる人は③いることが</p>
---	---

【表1】

問い 日ごろ、読んだり聞いたりする片仮名の言葉の意味がわからずに、こまったことがありますか。

(数字は%)

あ る (計)		こまることはない	わからない
78.5		20.9	0.6
よくある 21.0	たまにはある 57.5		

(数字は%)

	16~19歳	20代	30代	40代	50代	60歳以上
あ る (計)	59.5	70.9	72.5	78.6	83.6	81.4

【表2】

問い 日ごろ、読んだり聞いたりする言葉の中での片仮名の言葉が多いと感じることがありますか。

(数字は%)

	よくある	たまにはある	あ る (計)	多いと感じることはない	わからない
平成24年度	42.5	32.2	74.7	24.4	0.9
平成19年度	57.7	28.4	86.1	11.9	2.0
平成14年度	56.7	29.5	86.2	12.1	1.7
平成11年度	51.7	32.2	83.9	13.8	2.3

文化庁 平成24年度「国語に関する世論調査」の結果より。(一部表記を改めた。)

わかりません。私は、このことから、片仮名の言葉の使用が増えることについて多くの人が慣れてきたのではないかと思います。慣れてきているのだから、片仮名を多用してもかまわないのではないのでしょうか。(以下、話し合いは続く。)

\*傾向：状態などが一定の方向にかたむくこと。



第五学年「めあて」読む人に伝えたいことがよくわかるように、くふうして新聞を作ろう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

2 第一小学校の新聞委員会は、毎月学校新聞を発行しています。学校新聞九月号の記事は、大木さん、田中さん、山下さんの三人が書くことになっています。

問1 次は、大木さんが書いた、【第一小学校運動会についての記事の一部】です。これを読んであとの問いに答えましょう。

【第一小学校運動会についての記事の一部】

ア みんなでつくり上げた感動の運動会

イ 九月二十日に開かれた第一小学校運動会では、白組が見事にゆうしょうした。敗れた赤組もふくめて全校児童が自分の役わりを果たし、勝敗をこえて、みんなでつくり上げる感動を味わうことができた。

ウ 今年の運動会では、委員長会議で話し合いを重ね、全校児童が進んで役わりを果たすことができるような計画を立てた。その結果、全校児童が運動会づくりに積極的に取り組むことができた。

エ 運動委員会委員長の町村さんは、「昨年は、各委員会の思いや願いを計画案に反えいさせられなかったり、各学年の役わり分たんにかたよりがあったりしたため、感動を味わえた人が一部にかぎられていた。しかし、今年は、全校児童が運動会をつくり上げる感動を味わうことができたので、こんなにうれしいことはない。」と、声ははずませた。

ㄱ (本文が続く) ㄴ

大木さんは、記事の中のア・B・Cの三つの関係について、次の【構成のくふう】のように考えて記事を書きました。【構成のくふう】の中のアからウに、アからCの記号を書きましよう。

【構成のくふう】

記事の内容を短い言葉で見出しにして、ア で示し、その内容をイ からウ へとだんだんくわしく書いていく。

問2 田中さんは、校区の少年野球チームが活やくしていることを記事に書くことにしました。【学校新聞の記事の一部】のの中に、【取材した内容の一部】の①から④までを一文にまとめて書きます。書き出しの言葉に続く内容を、三十字以上、四十五字以内で書きましよう。(句読点等は字数に数えること。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくみません。)

【取材した内容の一部】

- ① 少年野球の県大会決勝戦が、八月三十日に行われた。
- ② その決勝戦に、第一小クラブが出場した。
- ③ 第一小クラブが、決勝戦で東公園少年団に勝ち、ゆうしょうした。
- ④ 第一小クラブは、九月に行われる全国大会に出場することになった。

ㄱ (メモが続く) ㄴ



第五学年「めあて」登場人物同士の関係をとらえ、心情を読み取ろう。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

3 次の文章は、宮沢賢治の「いちようの実」という物語の「一部」です。これをよく読んであとの問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること。)

「いちようの実」の一部

空のてっぺんなんか冷たくて冷たくて、まるでかちかちの\*焼きをかけたはがねです。

そして星がいっぱいです。けれども東の空はもう、やさしいききょうの花びらのようにあやしい底光りを始めました。

その明け方の空の下、昼の鳥でも行かない高い所を、するどいしものかけらが風に流されて、サラサラサラ南の方へ飛んでいききました。

実にそのかすかな音が、おかの上の一本いちようの木に聞こえるくらいすみきった明け方です。

いちようの実は、みんな一度に目を覚ましました。そしてどきつとしたのです。今日こそは、確かに旅立ちの日でした。みんなも前からそう思っていましたし、昨日の夕方やって来た二羽のからすも、そう言いました。

「ぼくなんか、落ちるとちゅうで目が回らないだろうか。」  
一つの実が言いました。

「よく目をつぶっていけばいいさ。」  
も一つが答えました。

「そうだ。忘れていた。ぼく、水とうに水をつめておくんだった。」  
「ぼくはね、水とうの外にはつか水を用意したよ。少しやろうか。旅へ出て、あんまり心持ちの悪い時はちよつと飲むといいって、あおつかさんが言ったぜ。」

「なぜおつかさんは、ぼくへはくれないんだろう。」  
「だから、ぼくあげるよ。おつかさんを悪く思っちゃすまないよ。」  
そうです。このいちようの木はお母さんでした。

今年、千人の、黄金色の子供が生まれたのです。

そして今日こそ、子供らがみんないっしょに旅に立つのです。母さんはそれをあんまり悲しんで、おうぎ形の黄金のかみの毛を昨日までにみんな落としてしまいました。

「ね、あたしどんな所へ行くのかしら。」  
一人のいちようの女の子が空を見上げて、つぶやくように言いました。

「あたしだって分からないわ。どこへも行きたくないわね。」  
も一人が言いました。

「あたし、どんなめにあってもいいから、おつかさんの所にいたいわ。」  
「だって、いけないんですって。風が毎日そう言ったわ。」  
「いやだわね。」

「そして、あたしたちもみんなばらばらに別れてしまおうでしょう。」  
「ええ、そうよ。もうあたし、なんにもいらないわ。」

「あたしもよ。今までいろいろわがままばっかし言って、許してくださいね。」  
「あら、あたしこそ。あたしこそだわ。許してちょうだい。」

東の空のききょうの花びらは、もういつしかしぼんだように力なくなり、朝の白光りが現れ始めました。星が、一つずつ消えてゆきます。

(宮沢賢治「いちようの実」より)

\*焼きをかけたはがねより固く強くするために、熱したあとに急に冷やした鉄。空のてっぺんのとて冷たい様子をたとえている。



問1 上村さんは、上の【いちちょうの実】の一部を読んで、たとえの表現を使って表現されている登場人物とその行動について、〈ノート〉にまとめました。

①〜④にあてはまる言葉を、それぞれ考えて書きましよう。

〈上村さんのノート〉

あ おっかさん（お母さん）……

①  
のこと。

い 黄金色の子供……

②  
のこと。

う 子供らがみないつしよに旅に立つ……

③  
ということ。

え おうぎ形の黄金の……みんな落としてしまいました……

④  
ということ。

問2 ……のときの登場人物の気持ちとして、最も適切なものをあとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 すみきった明け方の気持ちよさに気づき、感動している。
- 2 ね過すごしてしまったことをくやんで、あわてている。
- 3 大事な日をむかえて、改めてきんちようしている。
- 4 楽しみにしていた日がようやく来て、喜よろこんでいる。

問3 この文章でえがかれているのは、〈どんな登場人物〉の〈どんな気持ち〉ですか。次の〈条件〉にしたがって、考えて書きましよう。

〈条件〉

○ 〈上村さんのノート〉をふまえ、「おっかさん」「黄金色の子供」とたとえて表現ひょうげんされている登場人物について、それぞれの気持ちを書く。

○ 五十字以上、八十字以内で書く。

80																				50

《コラム》——物語文の登場人物同士の関係をとらえよう——

物語の登場人物同士には、親子、兄弟、友達など、さまざまな関係があります。登場人物同士の関係を正しくとらえるとともに、おたがいがどのように相手のことを思っているかについても考えるようになりましよう。

# 大問1～3の出題の趣旨、正答

Ⅰ P 45・46

## 1 出題の趣旨

- 資料の内容を読み取りながら、自分の意見を述べることができるかどうかを確かめる問題である。ここでは、片仮名で表された言葉の日常生活における使われ方について、話し合っている場面を設定した。片仮名で書かれた言葉の、意味のわかりづらさについて調べた【表1】、日常生活で、片仮名で書かれた言葉を目にする機会が多いと感じるかどうかを調べた【表2】という二つの資料をもとに話し合っていることに注目させ、正しく資料を読み取ったうえで、その資料をもとにして自分の意見を述べるには、どのようなことに注意すればいいかを考えさせたい。

## 2 正答について

### 問1

#### ○ 正答

(例) 調べたことを書き出したメモを示しながら話している。

#### ○ 解説

目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成をどのように工夫しているかを答えさせる問題。自分の考えの根拠となる資料を提示している点に着目させたい。(第5学年及び第6学年 話すこと・聞くこと イ)

### 問2

① (例) 八割近くになり ② (例) 年齢が高い方が多い

#### ○ 解説

図表から読み取れることを正確に述べられるかどうかを確かめる問題。①は具体的な数値を用いて答えられていれば、十分満足な状況とする。

### 問3

○ 正答 (例) 減少して

#### ○ 解説

図表を解釈して何が言えるかを考えさせる問題。「減少して」「減って」「少なくなつて」などの答えてあれば正解とする。(第5学年及び第6学年 話すこと・聞くこと ア)

### 問4

#### ○ 正答

(例) わたしは、上田さんの意見に反対です。片仮名の言葉が多いと感じる人は減りましたが、片仮名の言葉には意味のわかりづらいものも多く、特に年齢の高い人がこまっています。(八十字)

#### ○ 解説

(条件) を満たし、はじめに上田さんの意見に賛成か反対かが書けていて、【表1】【表2】を基にした意見なら正解。

上田さんの意見に賛成の場合は、【表1】からわかる「片仮名の言葉の意味がわからず、こまっている人が多数いる」ということをふまえたうえで、【表2】からわかる「片仮名の言葉が多いと感じる人は減っている」ということを基にした意見になる。

上田さんの意見に反対の場合は、逆に【表2】からわかる「片仮名の言葉が多いと感じる人は減っている」ということをふまえたうえで、【表1】からわかる「片仮名の言葉の意味がわからず、こまっている人が多数いる」ということを基にした意見になる。「特にお年寄りにこまっている人が多い」ということにもふれるとよいだろう。(第5学年及び第6学年 話すこと・聞くこと エ)



1 出題の趣旨

○ 学級新聞の作り方について、具体的に学習する教材である。

新聞作りは、国語科のみならず他の教科等においても、学習のまとめ等として位置付けられることが多い学習活動である。効果的な構成で新聞記事を書くためには、いわゆる逆三角形の構成と呼ばれる「見出し・リード・本文」の三つの関係を理解することが大切である。

この教材では、取材したことを基に「見出し・リード・本文」のそれぞれが整合するように記事を書く力を身に付けさせたい。また、本教材で身に付けた力を、他の教科等における新聞作りで生かしている場合、具体的な賞賛等により適切に価値付けることによって定着を図りたい。

2 正答について

問1

○ 正答 ア：A イ：B ウ：C

○ 解説

新聞記事の「見出し・リード・本文」の関係を捉えたり、目的に応じて必要な事柄を取り出したりする問題である。この問題では見出しで記事の内容を端的に示し、リードから本文へと次第に詳しく書くという構成を理解することが求められる。(第5学年及び第6学年 書くこと ア・イ)

問2

○ 正答 ②

(例) 東公園少年団に勝ってゆうしょうし、九月に行われる全国大会に出場することとなった。(四十字)

○ 解説

新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く問題である。

ここでは、新聞委員が校区の少年野球クラブの活躍を学校新聞の報道記事のリードにして一文にまとめて書くことが求められる。リードについては、とりわけ5W1H(いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように)などの事柄を整理して簡潔に書くことが重要である。(第5学年及び第6学年 書くこと ウ)

問3

○ 正答

(例) 今年のあいさつ運動は、毎年行っているとおり、六年生が毎朝校門に立ち、登校する児童にあいさつをすることになっている。また、今年、ポスターで呼びかけることが代表委員会で決定している。(九十字)

○ 解説

取材した事柄をまとめた【メモ】の内容を基に、見出し及びリードと整合させながら、本文を書く問題である。この問題では、新聞記事の「見出し・リード・本文」の関係を捉えて、〈条件〉に従って書くことが求められる。実際に記事を書く活動を日常的に設定すると効果的である。(第5学年及び第6学年 書くこと イ・ウ)

1 出題の趣旨

○ 宮沢賢治の「いちようの実」では、いちようの実⇨黄金色の子供、いちようの木⇨おつかさん（お母さん）と、擬人法が使われている。まず、そのことを正しくとらえさせたい。そのうえで、いちようの実がいつせいに木から落ち、はなれるという「旅立ち」を前にした、いちようの実（子供たち）といちようの木（母親）のそれぞれの心情について、お互いに相手のことをどのように思っているかということをもふまえて正しく読み取らせたい。

2 正答について

問1

○ 正答 ①いちようの木 ②（じゅくした）いちようの実

③（例）全部のいちようの実が、いちようの木から、地面に落ちる

④（例）いちようの木が、黄金色になったいちようの葉を、全部地面に落とした

○ 解説

この物語には、比喩的な表現が多数使われている。「おつかさん（お母さん）」⇨「いちようの木」、「黄金色の子供」⇨「いちようの実」ということをまず理解させたい。また、併せて作者の宮沢賢治独特の表現にも着目させたい。（第5学年及び第6学年 読むこと エ）

問2

○ 正答 3

○ 解説

直前の「みんな一度に目を覚ましました。」と、直後の「今日こそは、確かに旅立ちの日でした。」から感じられるのは、大事なその日が今日、まさにやって来たという緊張感であることを読み取らせたい。1、2にあてはまる記述は見られない。4にある「喜んでい」の様子を読み取る表現はない。（第5学年及び第6学年 読むこと エ）

問3

○ 正答

（例）じゅくして落ちる目を前にした、いちようの実の不安な気持ちと、それを見守るいちようの木の、いちようの実を思いやる気持ち。（五十九字）

○ 解説

〈条件〉を満たし、問1をふまえ、「じゅくして落ちる（旅立ち）を前にしたいちようの実と、それを見守るいちようの木の、それぞれの気持ちを書いていたら正解。いちようの実は、母親であるいちようの木の元をはなれることに対し、不安に思っている。一方、いちようの木は、自分の子供たちであるいちようの実が落ちてしまうことを悲しみ、思いやっている。いちようの実たちの会話や、「悲しんで、おうぎ形の黄金のかみの毛……みんな落として」（葉を全部落として）などの部分から、いちようの実といちようの木の、それぞれの気持ちを考えさせたい。（第5学年及び第6学年 読むこと オ）

第五学年【めいご】話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見とくらべるなどして考えをまとめよう。

( ) ( ) 組 ( ) ( ) 番 名前 ( )

【高田さんの学級では、総合的な学習の時間に「小学生とインターネット」をテーマに、意見発表会を行いました。次は、【成田さんによる意見発表】と、それを聞いている【高田さんの心の中の声】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【成田さんによる意見発表】

私は、小学生がインターネットを活用する時間を増やすべきだと思います。

インターネットを使えば、世界中のさまざまな最新の情報を手に入れることができます。学習に役立つサイトもたくさんあります。「有害なサイト、危険なサイトもある」という意見の人もいますが、コンピュータの設定を、そのようなサイトにつながらないようにすればいいと思います。

私がインターネットを利用していちばんやってみたいことは、世界の子どもたちと交流することです。五年二組のみなさんにも、ぜひもつとたくさんインターネットを利用してもらいたいと思います。

A 自分の考え方をはっきり述べているので、聞いていてわかりやすいわ。

B いいところを述べたあと、意見が出ると予想される問題点についても述べているわ。

C でも、問題点はほかにもあるんじゃないかな。

D 小学生は、インターネットよりも他のことに時間を使ったほうがいいと思うわ。



【高田さんの心の中の声】

問1 【高田さんの心の中の声】のA～Dは、それぞれどのような聞き方をしたのですか。次から一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 述べ方の工夫を考えながら聞いている。
- 2 よかったところを考えながら聞いている。
- 3 自分の意見をつくりながら聞いている。
- 4 ぎ問に思ったことを考えながら聞いている。

A  B  C  D

問2 高田さんは、Cのように考えて、成田さんの意見に対し、Dのような反対の立場から発言することにしました。あなたなら、どのような内容を発言しますか。次の〈条件〉で書きましょう。

〈条件〉

○「小学生がインターネットを活用する時間を増やすべきだ」という成田さんの意見に対し、反対する理由を挙げて発言する。

--	--	--	--

第五学年「めあて」資料を提示しながら説明したり、それらを聞いて助言や提案をしたりしよう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

2 山口さんは、テレビの番組でおすしやてんぷらなどの日本の食べ物、外国の人がおいしそうに食べているのを目にしました。興味をもった山口さんは、自由研究で外国での日本食の人気について調べ、わかったことを発表しました。次の「山口さんの発表」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

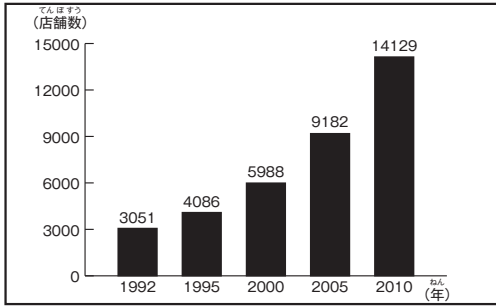
【山口さんの発表】

私は、外国における日本食の人気について調べました。まず、Aのグラフを見てください。このグラフは、アメリカにおける日本食レストランの数の年ごとの変化を表しています。このグラフから、アメリカにおける日本食レストランは ① ということがわかります。

次にBのグラフを見てください。このグラフは、さまざまな国の人たちに「好きな外国料理は？」というアンケート調査を行い、その結果をグラフに表したものです。このグラフからアメリカ以外の外国でも、② ということがわかります。

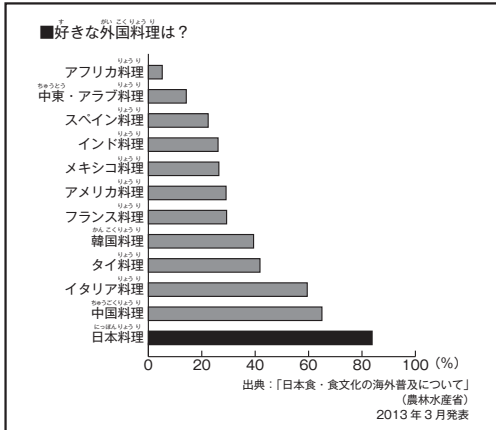
このように、日本食は外国の人にとっても人気があることがわかりました。

A アメリカの日本食レストランの数



「米国における日本食レストランの動向」(JETRO)

B 好きな外国の料理



※自分の国の料理は選べないが、複数回答は可能。

問1 ①・②にあてはまる言葉を、それぞれA・Bのグラフをもとに書きましょう。

②

①

問2 太田さんは、山口さんの発表を聞いて「日本食といっても、いろいろな種類があるのではないか。」とぎ問に思いました。そこで山口さんに、ぎ問に答える内容の発表にするための提案をすることにしました。どのような提案をすればよいか書きましょう。

--	--	--	--	--	--

第五学年「めあて」登場人物の関係をとらえ、自分の考えが伝わるように書こう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

③ 次の文章は、「落語」「三方一両損」の「一部」です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【落語「三方一両損」の一部】

( \*江戸に住む \*左官の金太郎が、ある日、 \*三両のお金が入った財布を拾います。同じ町に住む大工の吉五郎が落としたものだど知り、金太郎は吉五郎の家に財布をとどけにいりますが、「いったん落としたものは受け取れない。お金は全部お前にやる」と言われてしまいます。「受け取れ」「受け取れない」と言い争った二人は、結局、 \*お奉行所へ行って、名 \*奉行として名高い大岡越前守に相談することになりました。)

大岡越前守 (二人の話を聞いて、) では、この三両は私があずかることにするが、それでいいか。

金太郎と吉五郎 へえ、それで結構でございます。

大岡越前守 では、二人とも ①なので、二両ずつ、ほうびをあたえようと思うが、受け取ってくれるか。

金太郎と吉五郎 へえ、へえ、ほうびならいただきます。

大岡越前守 これで決着じゃ。わしはうれしく思うぞ。これは「三方一両損」というものじゃ。

金太郎と吉五郎 へえ? 「三方一両損」とはどのようなものでしょうか。

大岡越前守 まず、金太郎と吉五郎からあずかった三両のお金にわしが自分のお金の一両を加えて四両にし、二人に平等にあたえる。

②

金太郎と吉五郎 へえーっ、おみそれいたしました。

\*江戸に現在の東京の昔のよび方。 \*左官かべをぬる職人。

\*三両は昔のお金の単位。

\*お奉行所は現在の裁判所にあたるところ。

\*奉行は現在の裁判官にあたる人。

問一 ①にあてはまる言葉として適切なものを次のアからエまでの中から一つ選んで。その記号を書きましょう。

- ア よくばり
- イ がんこ者
- ウ うそつき
- エ よくのない者

問二 ②には、大岡越前守が「三方一両損」について金太郎と吉五郎の二人に説明している言葉が入ります。次の〈条件〉で書きましょう。

〈条件〉

○金太郎、吉五郎、大岡越前守の三名それぞれが、どうして一両の損になるのかがわかるように書く。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



第五学年「めあて」 図表やグラフを用いて自分の考えを書こう。

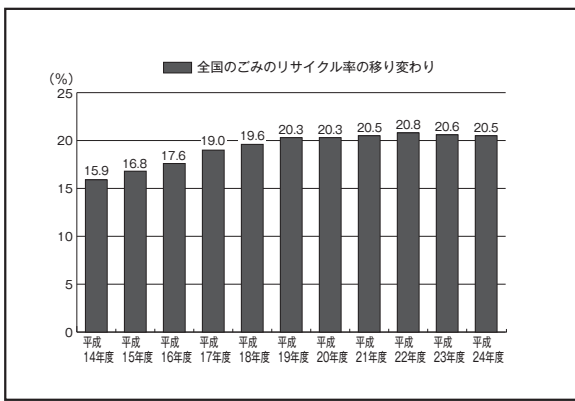
4 秋田さんは、二つの「グラフ」を見てわかったことをもとに次の作文を書きました。これを読んで、次の問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること。)

【秋田さんの作文】

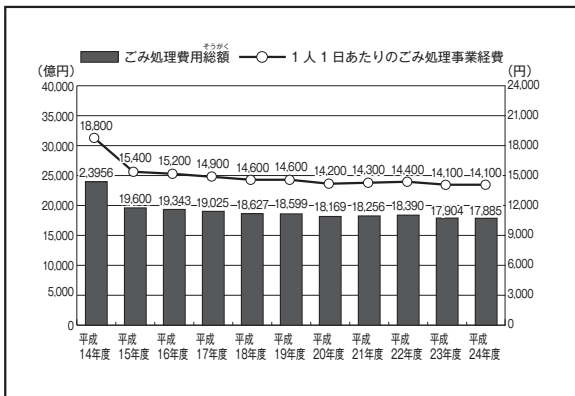
授業でごみのリサイクルのことが話題になったので、私はごみの処理費用とリサイクルの関係について調べてみた。

「グラフ1」と「グラフ2」から、ごみのリサイクル率が①と、ごみの処理にかかる費用が、②と③ということがわかる。

このことから、私はごみの処理にかかる費用を減らすために、③と考えた。「3R」という言葉がある。「ごみを減らす(リデュース)」「もう一度使う(リユース)」「資源として再利用する(リサイクル)」という、ごみの処理に関する三つのRを示す言葉だ。たとえば、ペットボトルをまとめて資源として出すことは、「リサイクル」になるだろう。私は、3Rを意識しながら、ごみの処理の問題について自分ができることをくふうしていきたい。



〈グラフ1〉全国のごみのリサイクル率の移り変わり



〈グラフ2〉全国のごみの処理費用の移り変わり

〈出典〉「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成24年度)について」(環境省)

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

問1 ①、②に入る言葉を、グラフから読み取って、書きましょう。

①

②

問2 ③にあてはまる文を、「グラフ1」と「グラフ2」の内容をふまえて、十字以上、二十字以内で書きましょう。

--	--

問3 作文のまとめの部分で、秋田さんはどんなくふうをしていますか。次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 二つのグラフからわかることを、さらによくわしく考えている。
- 2 意見を述べずに、人から聞いたこと、本で読んだことを引用し、事実を述べている。
- 3 考えのもとになる言葉を用いて、その言葉に関して意見を述べている。
- 4 自分とは反対の意見についても、しょうかいしている。



第五学年「めあて」登場人物の関係をとらえよう。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること。)

ディーゼルの列車は駅に着くずっと手前からスピードをゆるめ、身震いしながらゆつくりと進んだ。車内にたちこめる油のにおいがひときわ濃くなって、天井で回る扇風機がそれをかきまぜる。

少年はシャツの胸ポケットを探った。だいじようぶ。切符はちゃんと入っている。ついさっきも同じように確認した。「ボタンを留めてれば落ちないんだから」とお母さんには言われていたが、それでも、やっぱり、心配だった。お菓子の入ったりユックサクも、財布をなくしていけないと思つて、結局ずつと背負つたまま、二時間近くも列車に揺られていた。

一人で列車に乗るのは生まれて初めてだった。S市を訪ねるのも、初めて。友だちが、S市にいる。五年生に進級する前——三月に転校していった三上くんが、ここに住んでいる。駅のホームで待ち合わせるこゝになつてゐる。きつと三上くんも胸をどきどきさせて、わくわくさせて、列車が着くのをいまかいまかと待っているはずだ。

四カ月ぶりの再会になる。夏休みになつたら遊びに行くから、絶対に行くから、と三上くんが転校する前に約束をした。夏休み初日の今日、早起きをして列車に乗った。夕方の列車で帰るまで、半日たっぷり遊べる。ラジオ体操の皆勤賞は初日でアウトになつてしまったが、後悔はない。三上くんに会える。やつと会える。四年生の頃、二人はクラスでいちばんの仲良しだった。

列車は駅の構内に入った。少年は\*ボックスシートから\*デッキに移つた。ポイントを通過するたびに、列車は左右に大きく揺れる。両足を踏ん張って体を支え、またシャツの胸ポケットに手をあてて、あー、あー、あー、と声を出して喉の調子を整えた。ホームであいつに会つたら「ひさし

ぶり！」と大きな声で言つてやろうか。それとも、わざわざ遊びに来てやつたんだし、ちよつと照れくさいし、あいつから話しかけてくるまで黙つていようか……。

(重松清『小学五年生』「南小、フォーエバー」より)

\*ボックスシート：鉄道の座席で、二人ずつ向かい合つて座るもの。

\*デッキ：鉄道の客車のはしにある、出入口のゆかや、足をかけて乗りおりする部分

問1 少年と三上くんは、どのような関係ですか。【①四年生のころの二人。②三月に起きたこと。③少年が今しようとしてゐること】の三つのがわかるように書きましょう。


問2 少年が——線部のようなことをしたのはなぜですか。「三上くん」「再会」という言葉を使って、二十字以上、三十字以内で書きましょう。


第五学年「めあて」「言葉の使い方について書かれた文章を読み、自分の考えをまとめよう。」

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

「水筒持参」と言われたら

ここで言葉の使い方に関連した「意味」について考えてみましょう。言葉を使うとき、文字通りの意味ではあっても、実際には指すものが少しずれるということがあります。例えば「バナナを食べる」というときの「バナナ」はその実ですが、「バナナをむく」というときの「バナナ」は実際は「バナナの皮」です。①同じ「バナナ」という言葉でも実際に指すものは使い方によって違ってくるのです。同じように、例えば、小学校の遠足の通知で、「遠足にはお弁当と水筒を持ってきなさい」などと書いてあることがあります。この場合、「水筒」と書いてあっても、実際には、水筒そのものだけではなく「水筒の中のお茶」なども含んだものを表すのではないのでしょうか。学校からの遠足の連絡プリントに「②水筒持参」と書いてあるからといって、中身を入れないで「水筒」の容器だけを持っていくようなことは、普通の常識があればしないでしよう。

私たちは、このように言葉を使う場合、関連したものや近くにあるもので代わりに言い換えるような表現(メトニミーとか換喩などと言われます)を使うことがあるのです。例えば「執筆」という言葉がありますが、「筆を執る」すなわち「筆を手を持つ」という文字通りの意味だけではなく、「筆を執って、まとまった文章を書く」ことを表します。

\*容器⇨入れ物 (森山卓郎『日本語の〈書き〉方』より)

問1——線部①とありますが、次のときの「バナナ」という言葉は、バナナのどの部分を指していますか。それぞれ漢字一文字で書きましょう。

① 「バナナを食べる」というとき

□ □

② 「バナナをむく」というとき

問2——線部②「水筒持参」と書いてあるときの「水筒」の指す意味を、「新しい水筒を買う」という場合の「水筒」が指す意味とのちがいを考えて書きましょう。

□

問3 この文章は、言葉の意味のずれや広がりについて書かれています。「バナナ」「水筒」「執筆」のように、使い方によって指すものが少しずれる言葉を一つあげて、使い方によるちがいを書きましょう。

あげる言葉

□

□	□	□	□
---	---	---	---

## 小問1～6の正答

【話すこと・聞くこと】

1 正答 P 54

問1 (A) 2 (B) 1 (C) 4 (D) 3

問2 (例) 私は、成田さんとはちがつて、インターネットをする時間を増やしてはいけないと思います。インターネットにむちゆうになりすぎると、家族と話したり、本を読んだりする時間がなくなってしまうからです。小学生は時間を決めてインターネットを使つたほうがいいと思います。

2 正答 P 55

問1 ①(例) 年々増加している

②(例) 日本料理の人気は高い

問2 (例) 日本食には、おすしやてんぷら、そばなどたくさん種類があります。外国の人にどんな種類の日本食が人気なのかを示した資料があると、日本食が外国の人に人気があることをさらにくわしく伝えられる発表になると思います。

【書くこと】

3 正答 P 56

問1 エ

問2 (例) 金太郎と吉五郎は、三両受け取ることができたのに、それぞれ二両受け取ることになったので、一両損をすることになる。また、大岡越前守は、もともと出す必要のない自分のお金を一両出すことになり、一両損をすることになるから。

【書くこと】

4 正答 P 57

問1 (例) ① 上がる ② 減る

問2 (例) リサイクル率をもっと上げる必要がある (十八字)

問3 3

【読むこと】

5 正答 P 58

問1 (例) 四年生のころ、少年といちばんの仲良しだった三上くんは、三月に転校してしまった。夏休みの今、少年はS市の三上くんに会いに行こうとしている。

問2 (例) 三上くと再会するのを、待ちきれなかったから。(二十二字)

6 正答 P 59

問1 ① 実 ② 皮

問2 (例) お茶などの飲み物が入っている容器

問3 (例) あげる言葉：テレビ

(例) 「テレビを買う」という場合の「テレビ」は、「テレビという電化製品」という意味を表している。一方、「テレビを見る」という場合の「テレビ」は、「テレビに映しだされた番組」という意味を表している。

(例) 「時計がこわれる」という場合の「時計」は、「時計という時間を測る機械」という意味を表している。一方、「時計を見る」という場合の「時計」は、「時計の針が示す時刻を見る」という意味を表している。